

平成 24 年 度

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

平成 24 年度事業報告書

(自 平成 24 年 4 月 1 日 ~ 至 平成 25 年 3 月 31 日)

東日本大震災の津波により、大規模半壊となった当センターの施設が使用できない状況が続く中、釜石市の配慮により、引き続き市庁舎を仮事務所として使用させて頂き、地域の産業支援機関として釜石市及び大槌町と一体となり、国・県等の支援施策を活用しながら地域中小企業の復旧、再生に全力で取り組んでまいりました。

また、センター機能強化として 2 月より専務理事を配置し、復興交付金の採択により施設の災害復旧工事も完成しました。

引き続き、釜石市及び大槌町等と連携を図りながら、地元中小企業の支援機関としての役割を果たしていく所存であります。

【一般会計】

1 会議関係

・理事会	6 回 (定例 2 回、臨時 4 回)
・評議員会	2 回 (定例 2 回、臨時 3 回)
・監事会	1 回
・運営委員会	3 回
・最初の評議員選定委員会	1 回
・再生検討委員会	1 回

2 高度化資金償還事業

中小企業高度化資金 (地域産業創造基盤整備資金) 償還事業

○平成 24 年 9 月 30 日 平成 24 年度分償還

<平成 4 年度中小企業高度化資金>

貸付金額 178,500,000 円

償還方法 平成 8 年度から平成 24 年度まで、毎年 9 月末日を期日として、10,500,000 円を均等償還 (※償還完了)

3 産業育成支援事業

(1) 復旧・復興支援関連

◆補助金等申請支援

グループ補助金ほか、国・県・市等による復旧・復興支援策の情報提供や申請書の作成支援を行った。

○中小企業等復旧・復興支援事業補助金（グループ補助金）

グルーピング及び申請書作成支援を行った。支援したグループは次のとおり。

なお、支援したグループは全て採択されており、採択後の書類の作成支援も行った。

- ・釜石水産復興活性化グループ、
- ・釜石住環境復旧復興グループ、
- ・いわて観光復興の宿ネットワーク（釜石事業者のみ支援）、
- ・三陸水産復興活性化グループ

（※H23年度に支援したグループは次のとおり）

- ・釜石海産物生産販売グループ、
- ・釜石・大槌地区造船関連グループ、
- ・三陸水産復興グループ、
- ・立ち上がれ！ど真ん中・おおつち

○岩手県産業再生復興推進計画による優遇制度

情報提供及び申請書作成支援を行った。

◆機械・設備等の調達支援

県内外企業、団体から中古機械設備、工具、事務机・椅子等を調達し、被災企業へ斡旋・マッチング（提供）した。

【調達先】 ①有限会社牧野製作所（愛知県東海市）

【調達物】 中古機械設備（ボール盤、旋盤、グラインダー、拡大鏡、投影機、工具）

【提供先】 (有)アール、岩間鉄工所、(有)エムテック、(株)釜石電機製作所、
(有)釜石内燃機、(有)菊池政太郎商店、幸和自動車、小松製作所、
コンノ機工、(株)三陸技研、浜名工芸、(株)ロータス倉本

【調達先】 ②株式会社半導体エネルギー研究所（神奈川県厚木市）

【調達物】 中古事務机、中古椅子

【提供先】 (株)アサヤ、(有)エムテック、(株)三陸技研、マルハ建設、(株)みずかみ、
藤勇醸造(株)、(株)堀合漁業、前川組、東洋治療院、山長建設(株)、
(株)マツザキ電子、(株)津田商店、大槌加工協同組合、(株)佐藤商店、
ど真ん中・おおつち協同組合、芳賀鮮魚店、小豆嶋漁業

(2) 交流・人材育成事業関連

- 「釜石・大槌企業交流プラザ」の開催
日 時：平成24年12月6日（火） 15:00～
場 所：釜石ベイシティホテル
内 容：（情報提供）東京都荒川区
 （講演）「強みを活かして成長する企業経営の実践に向けて」
 大竹国際特許事務所 代表弁理士 経営コンサルタント 大竹正悟氏
 （交流会）
参加者：71名
- 「高度ものづくり人材育成講座 in 釜石 ビジネスプランニングプログラム」の開催
日 時：（第1回）平成24年12月21日（金）～22日（土）
 （第2回）平成25年1月18日（金）～19日（日）
場 所：釜石市教育センター
講 師：（公社）日本技術士会
受講者：10名
- 「企業ネットワークサロン」の開催
日 時：平成24年4月18日（水）、平成24年9月3日（月）、
 平成24年10月1日（月）、平成24年11月5日（月）
場 所：養老乃瀧

(3) 販路開拓支援事業関連

㈱北上オフィスプラザとの連携により、下記展示会に出展し、販路開拓を支援した。
なお藤沢及び大阪会場では、出展者と開催地の中小企業者等との交流会も開催した。
出展企業は次のとおり。

- （有）アール、石村工業㈱、㈱エイワ、㈱釜石電機製作所、㈱ササキプラスチック、
㈱千田精密工業、㈱テツニックス、（有）山岸産業、
- 「岩手・藤沢復興支援交流ビジネスマッチングフェア」
日 時：平成24年8月30日（木）～31日（金）
場 所：藤沢産業センター（藤沢市）
- 「中小企業総合展」
日 時：平成24年10月10日（水）～12日（金）
場 所：東京ビッグサイト（東京都）
- 「岩手・大阪復興支援交流ビジネスマッチングフェア」
日 時：平成25年2月5日（火）
場 所：MOBIOものづくりビジネスセンター大阪（東大阪市）
※1/17～2/15の約1ヶ月間、上記MOBIOの常設展示場に出展

(4) 情報提供事業関連

- 情報誌「釜石は、今」の発行 Vol.2～Vol.4 各1,000部
- ホームページ、電子メールによる各種情報の提供

(5) その他

- 商標申請支援
 (株)三陸いりや水産、(有)TRS食品、小島製菓、仙人柿酢醸造所
- 協同組合設立支援
 ど真ん中・おおつち協同組合
- 専門家派遣支援
 (株)プラネックス、(株)釜石プラットフォーム

【特別会計】

1 釜石市新産業創出促進助成事業（釜石市補助事業）

釜石市内の中小企業者等が行う、「新商品・新技術開発事業」、「事業化促進事業」、「販路開拓支援事業」、「人材育成事業」に対して、その経費の一部を補助し、中小企業の新産業創出を支援した。

・補助金交付先及びテーマは、以下のとおり。

企業名	テーマ	補助金額
三陸いりや水産(株)	新商品開発（試作）	488,250円
(有)近藤商店	個食パック焼魚の事業化促進	274,750円
(株)プラネックス	食品製造販売統合システム「豪商V7」の販売促進事業	237,000円

2 釜石・大槌地域産業復興支援事業

（沿岸広域振興局委託事業）

コーディネーターを配置し、釜石・大槌地域の事業者が、東日本大震災による被災からの復旧、復興につながる事業者支援をした。なお、業務にあたっては、当センターの産業育成支援事業との連携により実施した。

コーディネーター企業訪問数：延べ319件

内容については、産業育成支援事業（1）復旧・復興支援関連と同じ。

3 釜石市産業クラスター化支援事業（釜石市補助事業）

釜石市におけるコバルト合金産業の基盤強化とクラスター化を図るため、コバルト合金の生産及び2次加工に関連する技術を保有する企業を対象に研修会を実施した。

また、研修会参加企業に対してコバルト合金を提供し、合金の特性を活かした工業製品の試作を行った。

（1）コバルト合金研修会の開催

【第1回研修会】

日 時：平成24年4月24日（火）14:00～

場 所：釜石市教育センター5階会議室

内 容：平成23年度事業報告

平成24年度事業計画

いわて戦略的研究開発推進事業の申請について

参加者：17名

【第2回研修会】

日 時：平成25年3月14日（木）14:00～

場 所：釜石市教育センター5階会議室

内 容：平成24年度事業総括

CCM合金の一般産業応用について

平成24年度事業報告（参画事業者）

今後の展開について

参加者：44名

（2）コバルト合金による試作品の製造

○高分解能はかりの試作

製造加工したインバー合金（鉄&ニッケル合金）を、高分解能はかりの荷重センサーのコア部分に採用するため試作を実施した。

（参画企業及び役割）

- ・(株)エイワ：インバー合金製造
- ・双葉精密(株)：インバー合金加工
- ・(株)デジアイズ：高分解能はかり製作

○高精度ピンセットの試作

製造加工したCCM合金（コバリオン）を原料として、時計工場等の精密作業を行うためのピンセットを試作した。

(参画企業及び役割)

- ・(株)エイワ：CCM 合金製造
- ・東光舎(株)：ピンセット製作
- ・盛岡セイコー(株)：ピンセット試用及び評価

4 かまいしキッチンカープロジェクト

震災で被災した飲食店事業者の再起のきっかけとすると共に、新たな事業を創出することで雇用の場の確保及び地域の活性化を図ることを目的として実施した。

【実施内容】

当センターが事務局となり、プロジェクトを管理・運営するための「プロジェクト検討会」を開催した他、事業者を選定するための「事業者選定委員会」を開催した。

その他、営業スケジュールの管理やイベント主催者・事業者とのやりとりなど普段の細かい業務に関しては、まちづくり会社（株式会社釜石プラットフォーム）に事業委託し、プロジェクトの管理・推進を図った。

- ・プロジェクト検討会の開催：6回（6回／年）
- ・事業者選定委員会の開催：3回（随時）
- ・事業者連絡会の開催：25回（2回／月）
- ・地域内外へのイベント出展数：65回
- ・新規加入事業者：6事業者（むすびや、ハピスコーヒー、もつきり屋ずん、バラたこ、Bar UP&down、あったかや）
- ・卒業した事業者：2事業者（はまゆい、新華園支店）

【現在の事業者】

	事業者名	営業形態	主なメニュー
1	乾杯	ランチ営業、イベント営業	各種ランチメニュー、イベントメニュー
2	よつばや	ランチ営業、イベント営業	各種ランチメニュー、イベントメニュー
3	むすびや	ランチ営業、イベント営業	各種ランチメニュー、イベントメニュー
4	ハピスコーヒー	ランチ営業、イベント営業	コーヒー（ホット・アイス）、その他
5	もつきり屋ずん	夜営業、イベント営業	居酒屋メニュー、イベントメニュー
6	バラたこ	ランチ営業、夜営業、イベント営業	各種たこ焼き、おつまみ
7	Bar UP&DOWN	夜営業	各種アルコール、ソフトドリンク、スナック等
8	あったかや	ランチ営業	各種ランチメニュー

5 緊急雇用事業（釜石市委託事業）

釜石市内の被災事業者の復興を目的とした、被害状況・復興状況の把握及びデータ管理を行い、具体的な支援に繋げるほか、市内飲食事業者が取り組んでいるキッチンカープロジェクトの管理・運営補助のほか、市内中小企業者等の復旧促進に必要な業務を実施した。

（1）市内企業の被害状況・復興状況のデータ管理及び企業の情報発信

釜石市が平成 23 年度から実施している、半壊以上の被害を受けた事業者に対し支給した見舞金の申請と、経済センサスの結果をもとに市内事業者とその被害状況をデータ化した。また、市内事業者の被災状況と今後の再建に向けた意向の調査をすべく調査票を送付した。

調査対象事業者数：2,745 件

（2）キッチンカープロジェクトの管理・運営補助及びインターネット等を活用した情報発信

各種イベントへの出展及び自主事業・共同事業の開催サポートの他、営業チラシの配布やホームページ・フェイスブック等による情報発信を行った。

・各種イベントへの出展：65 件

（主なイベント：東北六魂祭、24 時間テレビ、仙人峠マラソン、釜石健康マラソン等）

6 産業育成センター再生事業（釜石市補助事業、基金取崩）

復興交付金の採択により、センター施設の災害復旧工事を実施した。設計費、工事監理費のほか、備品の購入に係る経費は基金の取り崩しにより購入した。

（1）設計業務

業 者：株式会社カクタ設計 釜石営業所

工 期：H24. 5. 28～H24. 8. 28

設計費：7,875,000 円

（2）工事業務

業 者：山崎建設株式会社

工 期：H24. 9. 28～H25. 3. 22

工事費：276,633,000 円

(3) 工事監理業務

業 者：株式会社カクタ設計 釜石営業所

期 間：H24.9.28～H25.3.22

監理費：3,150,000 円

(4) 備品購入等

備品名：事務机・椅子、ブラインドほか

購入費：10,313,625 円

7 カタールフレンド基金プロジェクト

釜石ヒカリフーズ株式会社が、「唐丹産海産物を鮮度そのままに全国にお届けする6次産業化プロジェクト」を実施するために、細胞膜を破壊せず冷凍可能なシステム(=CAS)等を当センターが購入し、釜石ヒカリフーズ株式会社に無償貸与した。

導入した機械装置は、下記のとおり。

CAS 機械、器具洗浄機、ベルトコンベア、高圧洗浄機、タコ揉み機、いくら洗浄機、さんま裁割機、さば裁割機、スチーム釜、めかぶスライサー、骨抜き機、冷凍パン、ゴミ圧縮機

8 6次産業化促進（海商工連携）事業

地域水産関連企業の基盤強化及び企業連携による6次産業化の促進を図ることを目的に事業を実施した。この事業は、社団法人沼津法人会が、地域の水産加工者の復興支援金として寄付の申し出があり、釜石市を經由しその寄付金を受け、事業を実施した。また、築地の東北復興支援協議会を事業支援者として得たことにより、地域水産加工業者の出口戦略及び市場投入戦略が明確になり、事業者の意識向上が図られ、事業意欲の増強につなげることが出来た。

(1) 海商工連携情報交換会の開催

日 時：平成25年1月24日(木) 15:00～

場 所：釜石ベイシティホテル

内 容：「築地からのメッセージ」

東北復興支援協議会 会長 山田孝之 氏

「スリランカ共和国より技術実習生受入の紹介」

「そごう・西武 チーフバイヤーからの情報提供」ほか

参加者：20 社

(2) 企業連携による 6 次産業化ビジネスモデル構築のための事業委託

地域企業の連携と未利用原料活用などの商品開発により、前浜から販売市場投入までの 6 次産業化ビジネスモデルの構築を検討した。

事業委託先：釜石 6 次化研究会

(メンバー：三陸いりや水産(株)、(株)浜千鳥、(有)ヤマキイチ商店、(有)小島製菓、ビストロ ル・デパール、東北復興支援協議会)

(3) 高付加価値商品開発に資する機械設備の導入

導入した機械設備は、以下のとおり。

- ・冷凍冷蔵庫 (SRR-J1261CVS)、
- ・フードプロセッサー (OMF-400B)、
- ・炊飯ジャー (NH-GD(A)54)、
- ・製氷機 (IM-35M)